

平成 3 0 年

亀山市教育委員会 1 1 月定例会会議録

亀山市教育委員会 11月定例会会議録

1. 日 時

平成30年11月16日（金）午後1時30分開会

2. 場 所

亀山市役所本庁舎3階 理事者控室

3. 出席委員

教育長	服 部 裕
1番委員	井 上 恭 司
2番委員	大 萱 宗 靖
3番委員	宮 村 由 久
4番委員	太 田 淳 子

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

教育部長	草 川 吉 次
教育総務課長（以下総務課長という。）	原 田 和 伸
学校教育課長（以下学校課長という。）	西 口 昌 毅
参事（兼）生涯学習課長（以下参事生課長という。）	亀 山 隆
図書館長	井 上 香代子
子ども未来課長（以下子ども課長という。）	宇 野 勉
文化スポーツ課まちなみ文化財グループリーダー（以下まちGLという）	稲 垣 智 也
学校教育課主幹兼学事教職員グループリーダー（以下学事GLという）	高 宮 綾 子
学校教育課主幹兼教育研究グループリーダー（以下教研GLという）	西 田 浩 司
学校教育課主幹兼教育支援グループリーダー（以下教支GLという）	平 野 朋 希
生涯学習課社会教育グループリーダー（以下生社GLという）	小 坂 博 文
教育総務課主幹（兼）教育総務グループリーダー（書記）	草 川 正 富
教育総務課教育総務グループ主査（書記）	西 口 幸 伸

6. 会議録署名者指名

1 番委員（井 上 恭 司 委員）

2 番委員（大 萱 宗 靖 委員）

7. 教育長報告

教育長 10月21日、職員採用試験は三次面接である。

 22日、知事と市長1対1対談では井上委員と太田委員の参加に感謝申し上げます。鈴鹿関跡学術調査専門委員会は、古代三関の一つである鈴鹿関跡について国の指定を受けたいという目標を掲げた2年目の委員会である。

 23日から学校訪問が続くが、教育委員会事務局として訪問して初任者や転入職員の面談を行い、また学校の授業を確認した。

 25日、人事用務は病気休職している教員の復職に向けた面談であった。デリバリー給食試食会は、主任児童委員や市長とともに参加し好評であった。

 27日、中学校文化祭は他の用務も重なり駆け足で3校を回った。

 29日、市町等教育長会議では大萱委員の参加に感謝申し上げます。

 31日、加太小学校農産物生産体験学習は、自然薯とさつまいもの収穫の体験学習であった。

 11月1日、三重の教育談義では各委員の参加に感謝申し上げます。

 6日、小中音楽会では、大萱委員、宮村委員、太田委員に参加いただいた。

 8日、図書館整備推進委員会では、基本設計の状況について意見をいただいた。

 10日、青少年のための科学の祭典、辺法寺地区の亥の子づくり、消防の防火フェアに参加した。

 12、13日の臨時会では市議会の議長、副議長などが決まった。

14日、学校給食用食材の贈呈式があり、亀の市やJAから食材の贈呈があった。

地域人材キラリ育成事業推進委員会では市民大学のカリキュラムを検討している会議である。

図書館の基本設計が固まった段階で12月議会に資料を提供する。その前に教育委員会で決定する必要がある、臨時会を開くことになる可能性がある。

宮村委員
まちGL

古代三関はどう読むのが正しいのか。

どの読みが正しいというのはありませんが、「こだいさんげん」というのが一般的です。先生方の表現は「さんげん」が多い状況です。

(ほかに質問はなく、教育長報告を終わる。)

8. 協議事項

教育長 協議事項1「平成31年度教育予算について」説明を求める。

総務課長 教育総務課は教育総務グループが5事業、施設・保健給食グループが16事業となっています。基本的には予算要求は前年度ベースで要求をすることとしています。教育総務課全体では、おおよそ4800万円増となっています。主な要因は、工事、修繕、備品です。

まず、7ページをご覧ください。食糧費として建設労働組合の奉仕作業に係る弁当代等を計上しています。

また、給食調理員の時給の増加や応接員等の1人増に伴い、人件費が大きく増えています。

次に、施設・保健給食グループでは、35ページの学校管理費一般管理費429万円増ですが、39ページの備品購入費が主に増えています。内容はAEDの買い替えや、食器洗浄機となっています。

42ページは施設管理費として、文化スポーツ課から移管した体育館の電球交換の費用を新規に計上しています。また、燃料費や、電気、水道の光熱水費は単価の上昇で増加しています。修繕料についてもかなり増額しています。その内容は、消防設備点検やその他の保守点検の指摘を踏まえての最低限の修繕です。

59ページは、学校管理費一般管理費です。全体で69万円の増加であり、AEDの買い替えと印刷機の更新です。施設管理費は前年並みです。

72ページの施設整備費では、亀山中学校の体育館の床改修工事があります。老朽化の程度が著しい状況であるため、改修費を計上しています。

74ページ、75ページにある遠距離通学補助金については一部を就学援助費に組み換えしています。

学校課長

89ページからご覧ください。歳入で、部活動指導員が2人から3人に増員となっています。

91ページから歳出関係です。95ページですが、教職員健康診断について、人間ドックを受けた方の指導区分の決定を産業医にお願いします。98ページですが、コミュニティ・スクール事務補助員を2人増員しています。また、スクール・サポート・スタッフを3人新規で計上しています。

中学校費につきましては、106ページの部活動指導員を2人から3人に増員して計上しています。

118ページで社会科副読本を改訂するので、約109万円増となっています。また、120ページにありますように教科書採択負担金も計上しました。

129ページをご覧ください。学校のボランティアに保険料を支払う予算を計上しています。

153ページの幼児教育推進事業ですが、子育ての手引きに係るパンフレットを配布する予算を計上しています。

171ページのいじめ問題調査委員会費ですが、委員会の開催を2回から5回に増やしています。

180ページに鈴鹿大学との連携の委託事業として、食育に係る減塩教育の指導に関わる部分を新たに計上しています。

参事生課長

社会教育グループはおおむね前年どおりです。

まず、社会教育委員会費の印刷製本費で家庭教育及び親の養育力に係る提言書を印刷配布する予算を計上しています。

223ページをご覧ください。青少年総合支援センター報償費として野村地区まちづくり協議会での自主防犯パトロールに係る謝礼金を計上しています。

229ページの鈴鹿峠自然の家ですが、現在草刈りを管理人が行っていますが、これを委託に出したいと考えています。

231ページからが図書館分となります。昨年度に比べて大きな増額となっていますが、図書館システムの入れ替えに伴うものです。

機器の老朽化に伴い、システムの保守サービス対応ができないため、新図書館でも対応できるシステムとして導入するものです。

246ページからの施設管理費ですが、二宮金次郎像を歴史博物館に移設する予算を計上しています。

大萱委員 例えば72ページで、中学校の体育館床の改修があるが、これらの修繕の計上の順番には意味があるのか。

総務課長 必ずしも優先度の高い順番になっているわけではありません。ただし、この亀山中学校は金額的に主要事業に近いものです。

大萱委員 この亀山中学校の体育館の改修は毎年要求しているのか。

総務課長 要求書に掲載するのは今回が初めてです。

大萱委員 毎年計上しているものもたくさんあるのか。

総務課長 要求がそのまま通るとは限りません。査定で減額されることもあります。

教育長 体育館の床が老朽化してきて、いよいよ改修が必要な時期である。

太田委員 最低賃金の上昇の影響はあるのか。

教育部長 最低賃金を下回る業種については、10月1日に最低賃金を越えるよう賃金の改定をしています。

宮村委員 働き方改革の総勤務時間縮減に向けた取組に向けた事業はあるのか。

学校課長 総勤務時間縮減を目的とする事業はありませんが、人員の配置で対応していく予定です。

宮村委員 総合教育会議での人員の要求が具体化しているのか。

学校課長 想定する人員の数を目指して、厳しい状況の中で調整を図っています。

教育長 総合教育会議では部活動指導員を何人増やすかまでは決めていない。

井上委員 これだけのボリュームのある事業を展開するのは大変である。これらの事業をこなしていくのは教育委員会事務局の職員の負担

になるのではないか。解決方法としてはスタッフの増員であると思うが、何か手を打たないといけない。

今回の予算要望の中で事業の廃止、見直しを検討したのか。スタッフの増員を要求したのか。

まず図書館ではどうか。

図書館長
教育長
教育部長

増員の要求をしましたが、認められず現状のままです。

事業で廃止縮小しようと考えていることを述べて欲しい。

特に学校教育課の教職員の健康診断について、産業医に指導区分を記載いただくことで、教職員の負担減と併せて予算減につなげています。

教育長

この標準予算は事業費というよりも、経常的に係る経費である。主要事業は別にある。

井上委員
教育長
教育部長

教育委員会事務局の職員の業務負担も大きいのではないか。

事務量よりも学校現場の対応で時間がかかるケースがある。

市役所全体の標準事業の計上方法としては、基本的には前年度を上回る予算の要求をしないとの方針があります。ただし、学校施設の老朽化など子どもたちの安全に関わる部分は増額しています。

井上委員

文部科学省、三重県教育委員会でも事務量は増加していると聞いている。市教育委員会事務局の職員の健康が心配である。

教育長

先生方がいくつもの研修会に出なければならない。教育委員会主催に限定することで研修会を減らすという努力も行っている。市教育研究会という組織の見直しも併せて行っている途上である。
(ほかに質問はなく、協議を終わる。)

9. 報告事項

教育長 報告事項1「平成30年度定期監査の結果について」説明を求めらる。

(総務課長、学校課長及び図書館長詳細説明)

教育長 検討して統一されたいとの意見に対する対応は決まっているのか。

総務課長

各学校の状況を確認して、口座振込で統一する方向で調整していきたいと考えています。

大萱委員

指摘事項の方が重い指導なのか。

教育部長 意見は改善命令ではありませんが、要求です。ただ、どういう処置を行ったかは広報に掲載されます。指摘事項はどちらかと言うと改善命令に近いものです。

(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項2「コミュニティ・スクール認定校の取組の成果・課題及び認定における経緯と今後の予定(案)について」説明を求める。

(学校課長詳細説明)

井上委員 コミュニティ・スクールに認定されている学校は学校運営協議会となるが、認定されていないところは教育協議会なのか。

学事GL そのとおりですが、神辺小学校のように併設のままのところもあります。

井上委員 予算措置はされているのか。

学事GL 事務補助員の配置や準備に係る予算を計上しています。他校の様子を見たり、講師を呼ぶような費用があります。

教育長 特色ある学校づくり推進事業では、コミュニティ・スクール会長と教育委員会が契約を交わす。委託契約を行っている。

井上委員 学校運営協議会と教育協議会の違いは何か。

教育長 予算の執行方法が違う。教育協議会は、校長を通じて教育委員会事務局での予算処理が伴う。学校運営協議会は委託をしているので、その組織で自由に予算の用途を決めることができる。

井上委員 学校運営協議会に事務局があるのか、事務補助員が事務局を担当しているのか。

教育長 事務局は学校にある。会の開催は、事務補助員が学校長や運営協議会会長、副会長などの役員と連絡調整して決めている。教員としてもコミュニティ・スクール担当がいる。

井上委員 学校運営協議会のメンバーの固定化について、校長の多くは2、3年で交替するが、学校運営協議会の役員の固定化が見られた場合、それを安定と見るか、弊害と見るか。

教育長 弊害が出るような会長は、亀山市ではないと思う。

井上委員 頑固な会長であれば組織運営は難しいのではないか。

教育長 校長が会長を委員推薦するなど2年毎のチェック機能が整備されている。

大萱委員 加太小学校では、事務補助員の人員確保と勤務時間の拡大が課

題とあるが、どういう状況か。

学事GL 加太小学校は、事務補助員の時間が減少しているのも、より多く対応したいとの意図です。

教育長 初期は国費で常勤の人員費が出ていた。

大萱委員 誰がコミュニティ・スクールを実施することを決めるのか、校長の判断なのか。

教育長 教育委員会の判断というわけではなく、地域の実状を見極めながら、教育委員会と学校が協議しながらの学校の自主的な判断と考えている。

宮村委員 学校側から見たコミュニティ・スクールは非常に効果があると思う。地域側から見たコミュニティ・スクールは課題があるのではないかと思う。もっと市長部局へも働きかけがあるのではないか。

学事GL 学校から地域へ出て行くという面では、少し遅れている部分があります。それをどう改善していくかとなると、もっと子どもたちが地域をフィールドにして、地域の方々と共に活動する場の設定等が必要であると考えます。

宮村委員 地域協働の部局とコミュニティ・スクールの活用について、もっと促してもいいのではないか。

教育長 地域まちづくり推進会議でコミュニティ・スクール活用の流れはできている。川崎地区コミュニティセンターで地域の人と共に学習支援に取り組んでいる状況がある。地域あげての敬老会、農芸祭などには子どもも参加する。そのような流れがある。中学校まで行くと、地域へ演奏に出かけるなどの取組もある。創意工夫と方法論でもっと充実できる場所である。

宮村委員 コミュニティ・スクールは学校を核としたまちづくりに効果を発揮できると思う。

井上委員 学校におけるPTAの姿があまり見えない。ぜひとも単位PTAを大事にしてほしい。

太田委員 そもそもコミュニティ・スクールについての理解が保護者や地域にないのではないか。運営の方法などを丁寧に説明していく必要がある。取組の内容をもっと説明していくべき。

教育長 年数を経るにつれて、PTA会長は学校運営協議会の役員になるとの意識が醸成されてくる。保護者の意識も高まってきている。

太田委員 一部の学校について2年の準備期間がなぜ1年に短縮されているのか。

学事GL 地域の実状を把握した上で、学校からの申し出により1年となっています。最初の頃はコミュニティ・スクールへの理解に時間を要し、2年の準備期間としていました。必ずしも平成34年までに移行しなければならないというわけではありません。

井上委員 これは報告事項でよいのか。協議事項ではないのか。
教育長 教育委員会の協議事項とすべきであったのでは。
学校課長 このスケジュールは、事務局での考えを示した案であり、報告事項としています。

教育部長 今回は今までの取組と課題を取りまとめた結果を報告していますので、報告事項としました。今後の予定案は事務局としてはこのような思いであるとのことで示しています。

井上委員 このスケジュールに不満があるわけではない。いろんな課題が出ていないので協議する場がほしいと考えている。PTAがどうしているのか等を話し合う場があると思う。

教育長 別にPTAと協議する場があるので、学校運営協議会と教育委員会の懇談会などが可能である。検討を願いたい。
(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項3「教育課題について」説明を求める。
(学校課長詳細説明)

井上委員 不登校の主な要因の「不安の傾向がある」とは何か。
学校課長 集団への不安や、個別的な人間関係、部活動などに不安があるケースを指します。

子ども課長 医療機関の診断を伴うケースも該当します。
教育長 様々な不安で診断されるもの又は、その疑いのものもある。

太田委員 取組の2つ目に福祉機関との連携による個々の実態に応じた支援の充実とは具体的に何か。

子ども課長 学校だけでなく第三者が入ることで解決できる事案の支援のことです。

太田委員 新任の先生への支援もあるのか。
子ども課長 新任の先生には接し方の助言をしています。
教育長 いじめ問題と不登校の書きぶりが違ってもよいが、早期解消に

向けてとの記述があってもよい。加える報告で検討願いたい。
(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項4「生徒指導について」説明を求める。
(学校課長詳細説明)

教育長 夏休み以後に特定の生徒が問題行動をしているようである。
井上委員 警察への被害届は出ているのか。
学校課長 出していません。
教研GL 学校からは出していないと聞いています。
(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項5「図書館利用状況について」説明を求める。
(図書館長詳細説明)
(質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項6「平成31年度亀山市立幼稚園入園児の応募状況について」説明を求める。
(子ども課長詳細説明)
大萱委員 今は働く人が多い状況なので、子どもを預ける人も多いのでは。
子ども課長 保育園は去年より受け入れが増加しており、子どもが小さいうちから預ける人が多い状況です。
(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項7「工事及び委託事業の発注状況について」説明を求める。
(総務課長及びまちGL詳細説明)
(質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項8「教育委員会行事報告及び予定表」について説明を求める。
(総務課長、学校課長、参事生課長、図書館長及びまちGL詳細説明)
(質問はなく、報告を終わる。)

10. その他

図書館長 「カメジョブキッズ2018」の取組について説明します。図書館司書の体験イベントとなっています。

11. 閉会

午後4時